

(別紙)

平成21年度日照不足・長雨等異常気象緊急対策事業

生産振興課

1 目的

平成21年7月中旬以降の寡照・長雨等による農作物への病害発生に対し、緊急的な追加防除を行うための薬剤費について市町村とともに助成し、被害を最小限に抑える。

2 事業内容

現在生育期間中である主要農作物において、多発生が心配される病害防除のために追加的に散布する場合、その薬剤費に対し助成する。

(1) 事業主体 農業協同組合、農業者グループ

(2) 補助率 県1/3 (市町村は任意)

(3) 対象とする作物と想定される病害

稲・梨・白ねぎにおいて、寡照・長雨等により多発生が心配される重大な病害

農作物	想定される病害とその症状	
稲	いもち病	カビにより葉や穂が枯れる
梨	黒斑病・黒星病	カビにより葉や実に黒い斑点ができる
白ねぎ	軟腐病・白絹病	細菌、カビによりひどい場合は株ごと腐る

(4) 補助金額 8,384千円

(5) 予算対応 予備費

3 補助金積算根拠

〈水稻〉いもち病の多発生が見込まれるほ場について、追加防除を実施することにより収量低下を防止・軽減する。

事業費	補助対象額 (薬剤単価/10a × 対象面積) 2,604千円 (1,302円 × 200ha)
補助金必要額	868千円 (2,604千円 × 1/3)
要求額	868千円

対象面積：葉いもち病の多発生ほ場 (今後病害の多発生が予想される面積)

防除薬剤：カスラブサイド粉剤3DL、4kg/10a など

防除時期：8月下旬～9月中旬

〈梨〉 黒斑病・黒星病の菌密度を低下させ、来年の栽培を安定化させる。

事業費	補助対象額 (薬剤単価/10a × 対象面積)
	〈早生・中生〉 11,045千円 (1,416円 × 780ha)
	〈晩生〉 1,536千円 (1,536円 × 100ha)
	計 12,581千円
補助金必要額	4,193千円 (12,581千円 × 1/3)
要求額	4,193千円

対象面積：全栽培面積

防除薬剤：早生・中生 チウラムフロアブル、500倍 600L/10a など

晩生 アンビルフロアブル、1500倍 600L/10a など

防除時期：9月上旬～10月上旬

〈白ねぎ〉軟腐病・白絹病の多発生が見込まれるほ場について、追加防除を実施することにより収量低下を防止・軽減する。

事業費	補助対象額 (薬剤単価/10a × 対象面積) 9,969千円 (3,323円 × 300ha)
補助金必要額	3,323千円 (9,969千円 × 1/3)
要求額	3,323千円

対象面積：軟腐病、白絹病の多発生ほ場 (秋冬ねぎ、春ねぎの全栽培面積)

防除薬剤：軟腐病 ナレート水和剤、1,000倍、300L/10a など

白絹病 モンカットフロアブル40、2,000倍、300L/10a など

防除時期：8月下旬～9月下旬